

こころの手足

中村久子



著者紹介

明治30年 飛騨高山に生まる

昭和43年、高山の自宅にて歿す

著書一宿命に勝つ 無形の手と足

私の越えて来た道 生きる力を求めて

他に、座古愛子女史の一生（編著）、諸誌掲載エッセイ等

こころの手足

1971年7月10日第1刷発行

著者 なかむらひさこ 中村久子

発行者 神田龍一

発行所 株式会社 春秋社

東京都千代田区外神田 2-18-6

電話東京 (255) 9611~5

振替東京 24861, 郵便番号 101

NDC900 検印省略 ￥ 550

整版 インターナショナルプレス

印刷 上野印刷 製本 篠崎製本



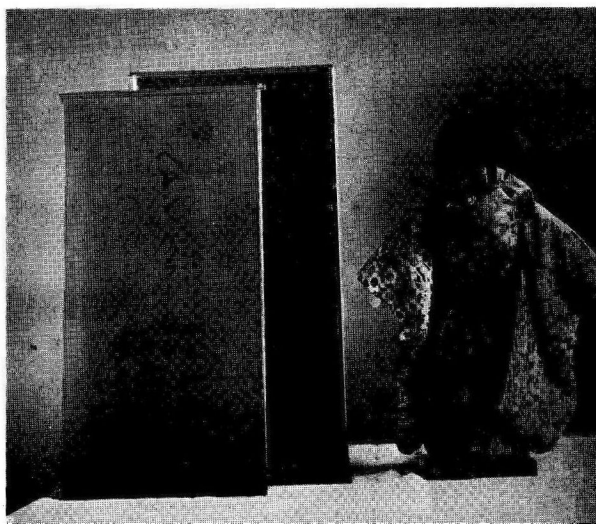
昭和39年秋



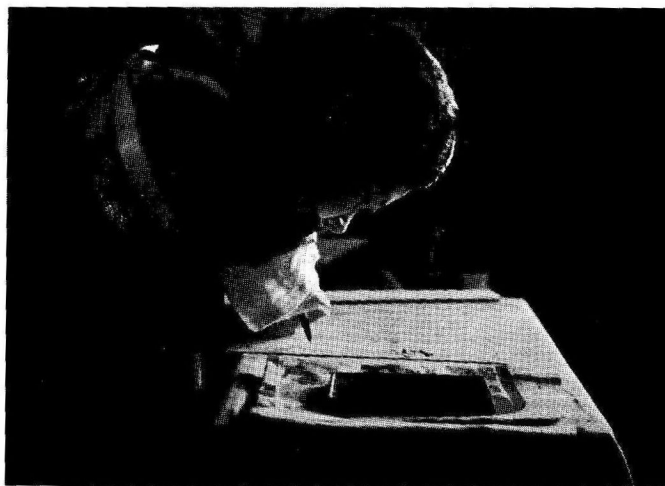
縋帯に箸をさしての食事と姐の前で（昭和十二年頃）

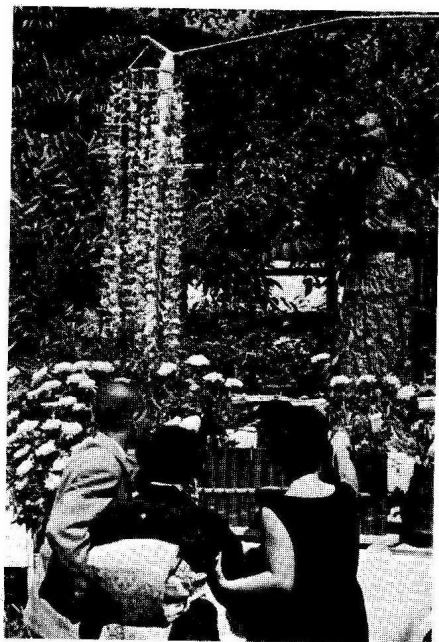


昭和十二年四月、ヘレン・ケラー
女史に贈る人形と共に



昭和二十三年十月、亀甲巾着を編む
腕と頬にはさんだ筆で短冊を書く

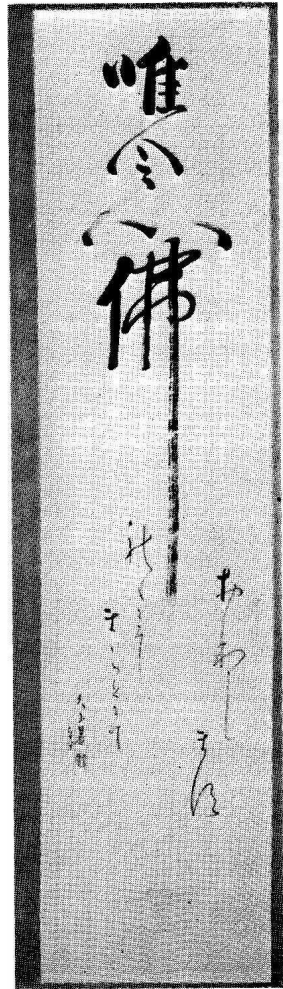




悲母観音像開眼式に
夫と次女に支えられて



座古愛子女史の法要を終えて
無文老師、神戸女学院の神父さんと



口書きの半切

右、六十八才の時
左、六十九才の時



無文老師と共に
（神戸祥福寺にて）



夫に背負われて（晩年）



口にて針を運ぶ

目次

第一部 いのちの珠

悲劇の序

三

流れる手足

六

父の急死

九

人形の手

三

学校に行けない子

五

母の再婚

八

光も失う

二〇

闇より光へ

二五

母の苦勞

三

女ごころ 七

相寄る母と子 一〇三

娘の運動会 一〇七

新生活 一〇九

貸衣裳で学習院へ 一一二

新しい夫 一二四

心の灯 一二七

光の人、ヘレン・ケラー 一二〇

真実の道 一二三

芸人暮しと訣別 一二五

ないままの姿 一二〇

手足なき女の日常生活 一二五

ある ある ある 一二二

第二部 光を求めて

あゆ（遺稿） 一二七

蓮月尼 一〇

手紙 一四

幸福の華は心に 一六

生かさるる 一七

仏心 一七

御恩 一七

悩みの涯に 一八

——甲斐和理子さんと語る

悲願成就 一九

ちぎれ雲（歌） 二〇

付・年譜 二〇

解説……瀬上敏雄

編集後記

題字 山田無文

第一部

いのちの珠

